

# 会派の意見

## 12月定例会を振り返って

### 自由民主党・中道の会

自由民主党・中道の会では、令和7年度予算編成に向けての要望書を12月5日の開会日に合わせて桑名龍吾市長に手渡ししました。主な内容は次の通りです。防災対策として、事前復興まちづくりの早期策定。少子化対策として、幼児教育・保育を担う民間事業者への支援、産後ケア事業の充実。観光振興として、「あんぱん」、大阪万博の経済効果の最大化。農林水産業振興として、DX・GX化推進による生産性向上。社会資本の計画的な整備と長寿命化。教育関連として、市立学校体育館への空調整備、ICT機器を活用した学力向上、いじめ不登校対策の充実などです。

同日より開会した12月定例会では、平田文彦議長のもと本会議で吉永哲也議員、藤川裕介議員、浜口卓也議員、高橋裕忠議員、上田亜矢子議員が登壇し、市政の抱える諸課題について、多角的な観点から個人質問を行いました。委員会審議では総務常任委員会で横

山公大議員、経済文教常任委員会では竹村邦夫議員、大田芳男議員、建設環境常任委員会では氏原嗣志委員長のもと、和田勝美議員、厚生常任委員会では清水おさむ議員、甲木良作議員が提出された議案の審議に臨みました。予算決算常任委員会では戸田二郎委員長のもと、それぞれの分科会に付託された議案について慎重に審議しました。最終日の本会議では市長提出議案および市議会会議規則改正案に賛成、意見書議案1件を自主投票、3件に反対しました。

### 公明党

**桑名市政の大規模機構改革に期待**  
令和7年度に編成される大規模機構改革の条例議案が上程され、11年ぶりに2部を新設する。その中でも「文化観光スポーツ部」の設置は、文化およびスポーツなどを通じて観光需要の喚起や移住・定住の促進を図るとしている。令和7年の関西万博やNHKの朝ドラ「あんぱん」などを契機として、さらに高知が注目される効果的な取り組みとなるよう期待したい。

また、本市の魅力発信のために行われる「シティプロモーション」では、高知市の食や文化を含めた情報を伝えるためのサイトや統一

### 市民クラブ

名刺も作成するという。職員や市民がセールスマンとなつて、全国に「ファン」層を広げる官民一体の取り組みを応援したい。

### 令和7年度機構改革に

期待と不安！

桑名市長は2年目に入り、本市の「これから」を見据え市役所内の連携強化と業務の効率化を目指し、機構改革をスタートさせます。政策企画部と文化観光スポーツ部を新設。今後、さまざまな課題に直面することになると思うが柔軟に対応できる組織となるよう、注視し期待しているところです。

12月議会、木村亘議員は人権、同和を柱に、神岡俊輔議員は消防の県一広域化一本に絞る県都としての責任ある対応を要望、岡崎豊議員は機構改革、厳しい本市の財政課題を言及、岡崎邦子議員は新教育長に集中して質問を展開。

さまざまな課題を深掘りし、今後も市政に反映させていきます。

### 日本共産党

**市民の生活を支える予算に賛成**  
一般会計補正予算について、住民税非課税世帯への生活支援給付金、障害者自立支援、民間保育所

への運営補助金など市民の生活を支えるための予算を歓迎、災害復旧費や公共工事費をゼロ市債事業として、来年度早期に工事稼働できることを評価して賛成しました。

「中山間地域等直接支払制度の継続、拡充」「学校給食費無償化の検討の加速」「高額療養費制度の限度額等見直しの慎重審議」などを求める意見書4件を提出しましたが、賛成少数でした。また、「精神障害者保健福祉手帳所持者に対する医療費助成制度」「学校の業務量に見合った教職員配置など」を求める請願に賛成しましたが、不採択となりました。

### 参政党

令和6年10月から秋冬コロナワクチン接種が始まっています。接種後の健康被害に苦しめられている方が多数おられます。会派では接種のメリット、デメリットを十分に考えてと強く訴えています。

### さきがけ高知

**期末手当増はノー**  
議員の期末手当が、国の人事院勧告に応じてアップするのは本末転倒。反対の立場から討論したが、特別職の報酬は、勧告に従う必要はないはずだ。